特集 在学生が職場訪問&インタビュー!

～行ってきました!～ 企業訪問

メディア：電通九州　環境：シャボン玉石けん　ビジネス：日本通運

2015年4月に新設する現代社会学部の
3つのコース（メディア・環境・ビジネス）の分野について、
企業としての取り組みや将来ビジョン、
働く際に必要とされるスキルなどを伺いました。

企業DATA #01 電通九州

福岡本社を拠点に九州内6支店をもつ広告会社。国内最大手の電通グループのノウハウと地域に密着したフットワークで多様な広告・サービスを展開する。

Q. お仕事の内容について教えてください.

A. お客様のニーズに合った広告の提案をはじめ、データベースの提供なども行っています。

私の部署ではインターネット広告やウェブサイトの構築などを行っています。単に広告枠の販売だけではなく、売り上げの拡大や商品・サービスの認知など、クライアント様のご要望や課題に合わせて効果的なプランを提案しています。また、サイトを閲覧した人の性別や年代、居住地など、新聞やテレビなど他の媒体では入手しにくいデータもウェブでは数字となって見えますので、そのデータベースの提供なども行っています。

Q. さまざまなメディアがありますが、広告ではどのように活用されていますか?

A. SNSや動画のほか日々進化するシステムを使って今までにない広告展開が可能になっています。

最近はfacebookやLINE、TwitterなどのSNSや、YouTubeなど動画と連動した広告展開も多いですね。システムもすごく進化して、検索したキーワードやSNSの登録データ、サイトで見た商品を分析して、その人に合った広告を瞬時に判断して出しているんですよ。例えば、興味がある商品を見て他のサイトに移動したら、端にある広告枠に関連した商品情報が出てくるなど、購買意欲をかき立てたり、欲しいジャンルの広告を打ち出すことで、この商品も良いなと思ってもらえるよう態度変容を促す手法もあります。新しいメディアが生まれては消えていく世界なので、日々勉強は欠かせません。

Q. この業界で女性はどのように力を発揮できますか?

A. 広告業界は女性の感性が生きる分野です。産休後に復帰する女性社員もたくさんいますよ。

ネットの進化に伴い、働き方の選択肢も広がると思います。ネットがつながる環境であればどこにいても仕事ができますからね。弊社でも産休や育休をとって復帰している女性社員がたくさんいますよ。特にこの業界は女性の感性が生きる分野なので、活躍の場も多いと思います。

Q. 将来的にインターネット広告はどうなりますか?

A. 広告媒体の中でも今後一番伸びると思います。

アメリカではネット広告費がテレビの広告費を抜いたそうですが、日本でも数年後にはそんな時代がくると思います。広告といえば新聞や雑誌、テレビなど既存のメディアを連想されるかもしれませんが、ネットは今後一番伸びる分野です。例えば、お店に入った瞬間、その人のスマホにクーポンが配信されたり、自分がウェブサイトで見た広告が利用する駅のデジタル看板に連動して出てきたりなど、一人ひとりにカスタマイズされた動きのある広告も出てくるんじゃないかと予想されます。

日々進化するメディアの世界。
インターネット広告の可能性は
今後ますます広がっていきます。

株式会社 電通九州
松浦 麗子さん
コミュニケーションプランニング局
デジタルビジネス部
メディア・プランナー

廣松 茜さん
文学部 アジア文化学科4年
福岡県・筑紫女学園高等学校出身

mother & daughter あなたにもお母さんにもオススメページ

橋本 侑紀さん
文学部 英語メディア学科3年
長崎県・活水高等学校出身

株式会社
シャボン玉石けん
前田 博昭さん
通信販売部
お客様相談室
石けんアドバイザー

企業DATA #02 シャボン玉石けん

北九州市若松で無添加石けんを製造・販売する企業。環境モデル都市である北九州市と連携し、無添加石けんを通して環境保全に役立つ研究・活動等を推進。

人の健康にも環境にも優しい
無添加石けんのパイオニアとして、
新しい活用法や研究にも取り組んでいます。

Q. シャボン玉石けんは他と何が違うのですか?

A. 一番の違いは成分。食品と同じ感覚で、石けんも成分を確認して選んでほしいと思います。

当社の石けんは、石けん成分だけの無添加石けんにこだわっています。一般的に洗浄剤には、石けんと合成洗剤の2つがあります。当社の石けんは、牛脂やパーム油などの天然油脂を原料に昔ながらの製法で職人が1週間かけて作っています。一方、合成洗剤は石油などから化学合成して作られた物質が主成分になっています。商品の裏面の成分表示を見ればすぐにわかりますよ。例えば食品を買うとき、添加物などの表示を見るでしょう。石けんも肌に直接触れるものだからこそ、食品を選ぶときと同じ感覚で、正しい知識をもって選ぶことが大切です。

Q. 石けんと環境保全の関わりについて教えてください。

A. 無添加石けんを使うことが自分で今すぐできる環境対策につながります。

環境問題というと、CO_2削減など大きくとらえがちですが、一番身近な環境対策は、毎日使う洗浄剤を見直すことです。石けんは排水として流れても短期間で水と二酸化炭素に生分解されます。しかし、合成洗剤は完全に分解するまで約30日もかかる上に、少量でも水中の生物に害を及ぼすものもあります。いかに自然を汚さず守ることができるか。これが石けんが環境に優しいと言われる理由です。無添加石けんについて知ってもらうと、おのずと環境に対する意識も高まりますよ。

Q. 御社で働く方々が大事にされていることは何ですか?

A. 先代社長の座右の銘「好信楽」に、私たち社員の想いが込められています。

本居宣長の言葉に「好信楽（こうしんらく）」とあります。まず会社や商品が好きであること、目的を成すために信念を貫くこと、自分が楽しみながら取り組むことが、企業の発展につながります。大学での学びや就職活動も同じですよね。熱い想いがあれば必ず伸びていきます。

Q. 石けんの特性を生かした新しい取り組みはありますか?

A. 産官学との共同研究で石けんを使った消防車両用消火剤の製造なども手がけています。

近年では、建物の火災を消す消火剤の開発・製造など、今までにない石けんの活用法にも取り組んでいます。石けんの泡をピンポイントに噴射して消火できるので、建物が水浸しにならず、水より軽いため消防隊員の機動性なども良くなります。また、泡なので水を大量に使う必要がなく、海外の水が少ない地域でもパワーを発揮でき、環境対策にも役立ちます。北九州市は環境モデル都市として発展しています。環境にも人にも優しい無添加石けんを通して、当社も環境保全の一翼を担えればと思います。

グローバルは地球規模の視点で捉えること。
物流を通して、国、人と企業をつなぎ、
ともに発展するシステムを作り出します。

企業DATA

#03 日本通運

様々な輸送モードとシステムを駆使して幅広い輸送サービスを展開する総合物流企業。グローバルロジスティクスでは企業の物流コンサルタント業務も担う。

Q. グローバルロジスティクスはどんな部門ですか?

A. 国や物流モードの垣根を越えたビジネスをトータルにサポートしています。

グローバルとは「地球」単位で、世界全体を見る発想・視点・動きのことです。当社では海上・航空・陸上などの輸送モードや保管（倉庫）サービスなどを行っていますが、各事業部がバラバラに動いては利益が見込めません。そこで、各部門と連携して様々な輸送モード等を組み合わせ、世界4大陸・40カ国229都市480拠点のネットワークを生かし、お客様への最適化物流の提案をしています。

Q. ビジネスの効率化を促すための具体的な取り組みについて教えてください。

A. 物流コンサルタントとしてモノから資産の流れまで最適化を図ります。

当社は物流コンサルタントとして、国内外における商品の運送だけでなく、在庫の圧縮やキャッシュフロー改善提案も行います。日本の製造業者に部品を提供しているのは、ほとんどアジア諸国のサプライヤーです。このサプライヤーが製造する部品を効率的に調達するためには、物流拠点を海外に設置することが必要となります。例えば、テレビを購入したとき、段ボールの中にテレビ本体・リモコン・ケーブル・取扱説明書等が梱包されていますが、これらの商品は別々のところで作られ、現地の物流拠点に集約されて箱に詰め日本に輸送されています。この物流拠点を設置して、物流設計を最適化することにより、物流コストだけでなく余剰在庫も圧縮し、管理コストの低減や、さらに人件費の削減効果等も実現します。このように、お客様各々の最適物流をグローバルにデザインし、工程表にもとづき、企画・設計・運営を行う事業を推進しています。

Q. 社員には外国の方も多いのですか?

A. 国内外を問わず優秀な人材の確保は欠かせません。

同席しているベトナム出身のキェウ・チャンを含め、現在のチームには中国と韓国人の3名がいます。ベトナムはこれから伸びる国なので、人材の確保は欠かせません。また、韓国や中国も九州エリアは特に自動車部品関係の調達でニーズがたくさんあります。逆に、日本の女性社員で世界中を飛び回っている人もいますよ。海外の人と仕事でやりとりをする上で大切なのは知識と知恵、そして自分が主役というハート。さらに日本人としてのアイデンティティです。

Q. 九州を軸にした取り組みはありますか?

A. 九州産の青果物を海外展開する企画があります。

九州産のイチゴ「あまおう」は香港にも輸出されますが、鮮度維持のためにスピーディな航空輸送が一般的です。反面、航空輸送コストは現地での販売価格に跳ね返り、日本価格の約2倍になるため安価な米国産・韓国産に比べ販売数量が伸びません。これを解決するには新規市場の開拓と中間所得者層が拡大するASEAN諸国でのブランド化確立が必要です。当社では海上輸送で「あまおう」を輸出すべく鮮度保持のシステム構築を行っています。成功すれば輸送コストは90%近く減額でき、価格競争力の向上とともに生産者の収入拡大にも寄与できます。九州は漁業・畜産業も盛んです。この分野でも新規輸送システムの開発に取り組みたいと思います。

日本通運株式会社
園田 晃弘さん
九州グローバルロジスティクス企画課長

グェン・ティ・キェウ・チャンさん
九州グローバルロジスティクス企画

松下 陽香さん
文学部 英語メディア学科3年
福岡県・輝翔館中等教育学校出身

企業訪問を終えて

mother & daughter あなたにもお母さんにもオススメページ

現場の雰囲気や、お話から得た学びとは?
在学生にリアルな感想を聞いてみました!

企業DATA

#01 電通九州

働く上で大切な「意識」と「知識」を感じました。

今まで何気なくインターネット広告を見ていましたが、メディア自体に対する見方が変わりました。一番感じたのは「意識」と「知識」の大切さです。お客様のために新しい情報をどんどん吸収し、画期的なプランを提案される姿勢は、私が内定をいただいたセブン&アイ・ホールディングスの仕事にも通じると思います。

廣松 茜さん
文学部 アジア文化学科4年
福岡県・筑紫女学園高等学校出身

企業DATA

#02 シャボン玉石けん

環境に意識が高い企業は発展性が高いと思いました。

実家の洗濯用洗剤がシャボン玉石けんなので商品は知っていましたが、成分表示などはよくわからなかったので勉強になりました。自然のものを原料にした無添加石けんは、体にも環境にも良いというお話が印象に残っています。環境に対する意識が高い企業は活躍の場も幅広く、将来的にも伸びるんだなと実感しました。

橋本 侑紀さん
文学部 英語メディア学科3年
長崎県・活水高等学校出身

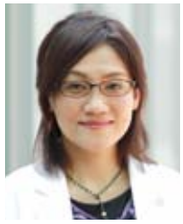
企業DATA

#03 日本通運

運ぶのはモノだけじゃない!幅広い業務内容に驚きました。

日本通運といえばまず引っ越しのイメージでしたが、世界中で展開されている幅広い仕事内容にびっくりしました。キャッシュフローのシステムはとても斬新で、効率化など企業のニーズに応える姿勢や、発想力の大切さなど学ぶ事が多かったです。運ぶのはモノだけじゃないと、気づくことができた貴重な体験でした。

松下 陽香さん
文学部 英語メディア学科3年
福岡県・輝翔館中等教育学校出身



橋本 嘉代先生
現代社会学部 講師 就任予定
文学部 英語メディア学科講師。出版社やIT企業での勤務経験を得て現職。

希望の仕事でHAPPYに働くためには、熱意・スキル・ニーズのバランスが大切です。

企業を知名度やイメージだけでとらえて詳しく調べなかったり、憧れているだけで仕事に必要な力がついていない状況では、就職はスムーズにはいきません。仕事は「やりたい」という熱意、その仕事を「できる」というスキル、その仕事が世間で「求められる」ニーズの3つがそろったときに職業として成立します。大学でITや英語など様々なスキルを磨いたり、今の社会ではどのような商品やサービスが必要とされているのかを把握する力を養うことが大切です。そして、熱意。自分が好きと思えることは、頑張るための原動力としてやはり大切。5年後・10年後にどんな自分になりたいか、早い段階から視野に入れると、大学での学びもきっと変わってくると思いますよ。

NEW 2015年4月新設
筑女で新たな「実」学
現代社会学部
「実」社会から学び、「実」践する。
「ビジネス社会」コース
「メディア社会」コース
「環境共生社会」コース